

## 岡山大学の目的、教育理念、教育目標

### 1 岡山大学の理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなければなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

### 2 岡山大学の目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

### 3 岡山大学の目標

#### (1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

#### (2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

#### (3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利点を活かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

#### (4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

#### (5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。

## 歯学部 of 教育理念・目標

歯学部は良き歯科医療人を育成し、歯科医学を研究、発展させることを目的としています。社会のニーズの多様化と国際化が急激に進む中で、歯科医療もますます高度化しつつあります。歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視した人材育成を行っています。

歯科医学は幅広い総合的な学問領域です。歯学部では自然科学から人文、社会科学的な分野の教育、研究も行われています。文系、理系に関わらずさまざまな学生が活躍できる学部です。

## 歯学部カリキュラムポリシー

歯学部の教育科目は6年一貫の授業プログラムで行われ、卒業後歯科医師の資格を取得するための歯科医師国家試験に合格するだけでなく、岡山大学ディプロマポリシーに掲げる学士力を備えた人材育成のために、以下のカリキュラムポリシーに基づき特色あるカリキュラムを策定しています。

### 人間性に富む豊かな教養【教養】

多様な社会、学問領域に関心を持ち、知的好奇心を養うために、教養教育科目として、知的理解、言語、実践知・感性、汎用的技能と健康、導入科目を設定しています。専門教育科目においては、自ら問題を発見し解決する能力の涵養、将来の医療従事者としての自覚、生命現象ならびに人間性の多角的理解に基づいた歯科医学、歯科医療を目指した授業科目を実施します。

### 目的につながる専門性【専門性】

歯学教育モデル・コア・カリキュラムおよび歯科医学教授要綱を基本とし、歯科医師になるために必要な知識・技能・態度を修得するための臨床系専門教育科目と、その礎となる基礎系専門教育科目を設定しています。専門教育科目では、知識をより深く理解し、実践する能力を培うための講義と実習を並行して行います。また、歯科領域だけでなく、全身的な医学・疾患に関する知識を修得するため隣接医学を開講します。健康長寿社会の実現に向けて、生活習慣病や認知症、急性期医療、在宅介護医療、死生学に関する講義をe-learningを活用して実施します。さらに本学が独自に構築した、早くから医療人としての自覚を持たせるための早期見学実習を1年次に実施します。5年次から6年次にかけては、岡山大学病院における実際の臨床の現場で教員の指導を受ける診療参加型臨床実習を組み入れた授業科目を展開するとともに、地域医療の現場で活躍する臨床講師の下で在宅歯科医療を体験します。

専門教育科目は1年次から開始し、4年次までに基礎系専門科目を行うとともに臨床系専門科目を5年次前半までに履修完了します。また臨床予備実習を経て、5年次から6年次まで臨床実習を行います。そして、統合型学習としての総合歯学演習を行い、6年間の歯学教育内容を整理します。

### 効果的に活用できる情報力【情報力】

歯科医師として必要な情報収集および分析能力、またそれらを活用・発信する能力や態度を育成する科目を設定しています。チュートリアル教育では少人数グループ学習で、呈示された課題について情報収集を行うとともに、その成果を発表する能力を養います。介護施設を用いたPBL演習では、介護現場を見学することで高齢患者の問題点を抽出し、解決する能力を養います。また3年次に行う自由研究演習（研究室配属）では各研究室に2ヶ月程度所属してリサーチ・マインドを育成するとともに、学生は情報収集および分析能力を身に付け、成果を効果的に情報発信できる力を修得します。

### 時代と社会をリードする行動力【行動力】

歯科医学ならびに歯科医療技術を追求する姿勢を育成し、広く社会に還元するための行動力を養う科目を用意しています。基本的な自己学習力を身につけるために、チュートリアル教育を実施します。基礎系専門教育科目ならびに臨床系専門教育科目の基礎実習、診療参加型臨床実習で総合的な知識・技能・態度を学び行動力の基盤を育成します。さらに、歯学国際交流演

習（短期留学プログラム）で国際性、自由研究演習で研究力、特別科目で地域社会との連携などの理解を支援します。国際的な場で活躍する基礎的能力を得るために外国語科目を設定しています。高度医療支援・周術期口腔機能管理実習でチーム医療の一員としての歯科医師の役割、多職種連携について学びます。

#### 生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

歯科医師は生涯に亘って日進月歩の医療知識を吸収し成長し続けること、即ち自己実現力を身につけることが要求されます。この学士力を育成するためにスポーツ、文化活動を含む教養教育科目を設定しています。さらに1年次からチュートリアル教育を開始し、これを3年次、4年次で専門的に発展させた科目の履修を通じて自己の成長を追究する姿勢を養います。それに並行し、自己表現力演習、早期見学実習、自由研究演習、歯学国際交流演習によって、世界における自己の位置を認識できるよう学生を導きます。診療参加型臨床実習では、歯科医として臨床に深く携わる日々を享受し、その中で自らのあるべき姿への成長を実現して行ける能力、生活態度が身に付きます。

## 歯学部ディプロマポリシーとその要素を構成するコンピテンシー

歯学部DP要素	コンピテンシー	コンピテンシーの内容説明
人間性に富む豊かな教養【教養】 自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた歯科医療人としての豊かな教養を身につけている。	歯科医療人倫理	臨床・研究での倫理規範と患者の権利を尊重し誠実に行動できる。
	社会規範の理解と遵守	職務上の不正を認識し、所属機関・社会の規範を遵守できる。
	対人関係構築維持能力	患者の心理・社会的状態を理解し、信頼関係を築くことができる。
	医療社会基盤の理解	社会における各種医療運用システムを理解し応用できる。
目的につながる専門性【専門性】 医療に対する社会の要請ならびに歯科医学の進歩に主体的に、独創的に対応し、高度な医療福祉の担い手とならう歯科医師としての専門的知識・技能・態度を身につけている。	生命科学の知的基盤	歯科医療に関連する生命科学的知識を身につけている。
	臨床医学の知的基盤	歯科医療に関連する臨床隣接医学知識を身につけている。
	治療計画策定力	診断の結果に応じて、適切な治療計画をたてることができる。
	予防・治療の技術	歯科領域の各種疾患の基本的な予防と治療を計画・実施できる。
効果的に活用できる情報力【情報力】 先端的な歯科医学、歯科医療の発展を担うための問題発見、情報収集・分析・応用能力を身につけると共に、成果を効果的に発信できる。	情報活用能力	情報のアップデートと品質管理をしつつ、守秘義務を遵守できる。
	情報共有・説明能力	患者中心の視点で、家族を含めた情報共有のもと診療ができる。
	科学的医療の実践	臨床上の問題解決に質の高いエビデンスを収集し応用できる。
	診査・診断能力	症例に応じて適切な診査・検査を選択実施し、適切に診断できる。
時代と社会をリードする行動力【行動力】 歯科医学と歯科医療技術を基盤に、地域社会から国際的な場に至るまでの幅広い領域で活躍できる。	国際的視野	世界的水準で歯科医学的に重要な事象を理解し議論できる。
	実践的英語力	歯科医学の専門的内容を英語で理解、記述し表現できる。
	リサーチマインド	科学的実践を実践し、結果を分析・発表できる。
	医療人としての態度	医療人として適切な態度で、品位と思いやりをもって行動できる。
生涯に亘る自己実現力【自己実現力】 社会・文化活動等に親しむことを含めて、自立した個人・社会の一員として日々を享受する姿勢を一層高め、生涯に亘って歯科医療、歯科医学を志す者として自己の成長を追求できる。	問題発見・解決能力	歯科医学における問題を発見し、科学的解決に導くことができる。
	プロフェッショナリズム	医療プロフェッショナルとして生涯にわたり自己を高めてゆける。
	医療現場での対話能力	歯科医療チームにおいて多職種連携・協働を効果的に実現できる。
	地域包括ケア展開力	地域の社会、文化、環境的要因や高齢化を考慮し医療に従事できる。